

オリンピック・パラリンピック・ニュース No.19

江原小学校 オリンピック・パラリンピック教育担当

10月22日(木)にフラインドサッカーの選手が江原小に来て、6年生に授業をしてくれます。そこで、今回はフラインドサッカーについて紹介します。

1 フラインドサッカーってどんな競技？

フラインドサッカーは、視覚に障害のある選手が行うサッカーです。ゴールキーパー以外はまったく目が見えない全盲の選手で、アイマスクを付けてプレーします。

パラリンピックでは、「5人制サッカー」という競技名で呼ばれています。日本では、「ブラサカ」とも呼ばれています。

2 フラインドサッカーのルールは？

- コートは、フットサルと同じ広さ(40m×20m)
- 選手は5人(ゴールキーパー1人+フィールドプレーヤー4人)
- 試合時間は前後半20分ずつの合計40分、その間に10分間のハーフタイムがある。
- ボールは、フットサルボールと同じ大きさで、転がると音が鳴る。
- ボールを奪いに行くときは、危険な衝突を避けるため、「ボイ」と声をかけなければならない。(「ボイ」とは、スペイン語で「行く」という意味)
- 敵のゴールの裏に、「ガイド(コーラー)」と呼ばれる役割の人がいる。相手や味方の位置やゴールまでの距離、シュートのタイミングなどを伝える。
- コートのサイドライン上には、高さ1メートルのフェンスが並ぶ。このフェンスは、ボールが外に出ることを防いだり、選手にピッチの大きさや位置を伝えてくれたりします。

3 フラインドサッカーの試合を見るときのマナーは？

フラインドサッカーの試合では、プレー中は静かにしなければなりません。なぜなら、フラインドサッカーの選手が頼りとしているボールの音や、コーラーの指示が聞こえなくなってしまうからです。

その代わりに、シュートが決まった時は、大きな声援をおくりましょう。

日本フラインドサッカー協会のホームページでは、試合の動画を見ることができます。選手の動きが素晴らしいので、ぜひ見てみてください。

<参考文献・ホームページ>

日本フラインドサッカー協会のホームページ、ウィキペディア(フラインドサッカー)